



南西から



東から



1. 第Ⅱ-1郭庭園1 (北から) 2. 第Ⅲ-1郭庭園2 (西から) 3. 第Ⅳ-2郭庭園3 (北西から)



全景（北から）



西辺の埴列（東から）

# 目 次

巻頭図版

序文

例言

目次

第1章 地理的・歴史的環境	（南）	1
第2章 事業の経過		
第1節 史跡指定以前の経緯		7
第2節 調査に至る経緯		8
第3節 調査体制		9
第4節 調査方法と経過		12
第5節 調査日誌（抄）		17
第3章 調査の成果		
第1節 調査の概要	（山上・南）	19
第2節 遺構	（山上）	21
1. 第Ⅰ曲輪群	（山上）	21
2. 第Ⅱ曲輪群	（山上）	29
3. 第Ⅲ・Ⅵ曲輪群	（山上）	36
4. 第Ⅳ曲輪群	（山上）	43
5. 第Ⅴ曲輪群	（山上）	46
6. 第Ⅵ曲輪群	（山上・南）	51
7. 遺構のまとめ	（山上）	53
第3節 出土遺物		
1. 土器・陶磁器	（山上）	61
2. 曲輪群の様相	（山上）	67
3. 瓦類	（山上）	73
4. 鉄製品・銭貨・土製品・石製品・その他の遺物	（山上・山下）	76
5. 遺物のまとめ	（山上）	79

第4章 遺物の分析 .....	(南)	85
第1節 はじめに .....		85
第2節 土器の組成 .....		85
1. 全体の組成 .....		85
2. 曲輪別の組織 .....		87
第3節 中心的な曲輪での分布 .....		90

## 第5章 調査の総括

第1節 調査成果のまとめ .....	(山上)	109
1. 検出遺構について .....		109
2. 置塩城跡の縄張り と播磨の城郭構造 .....		111
3. 後期赤松氏の守護所景観 .....		116
第2節 委員会からの提言 .....		120
1. 調査成果の意義 .....		120
2. 地域と置塩 .....		120
3. 今後の視点 .....		121
4. 自然林としての山城 .....		121

## 付論

置塩城の縄張りの特異性について .....	(村田)	135
方形館体制の中の播磨置塩城 .....	(前川)	141
播磨の破城令について .....	(小林)	153
播磨置塩城主赤松氏の動向 .....	(依藤)	161

## 資料編

置塩城跡をめぐる史料と解説 (補遺) .....	(依藤)	1~10
--------------------------	------	------